

2017年

9月▶10月の星空



この図は

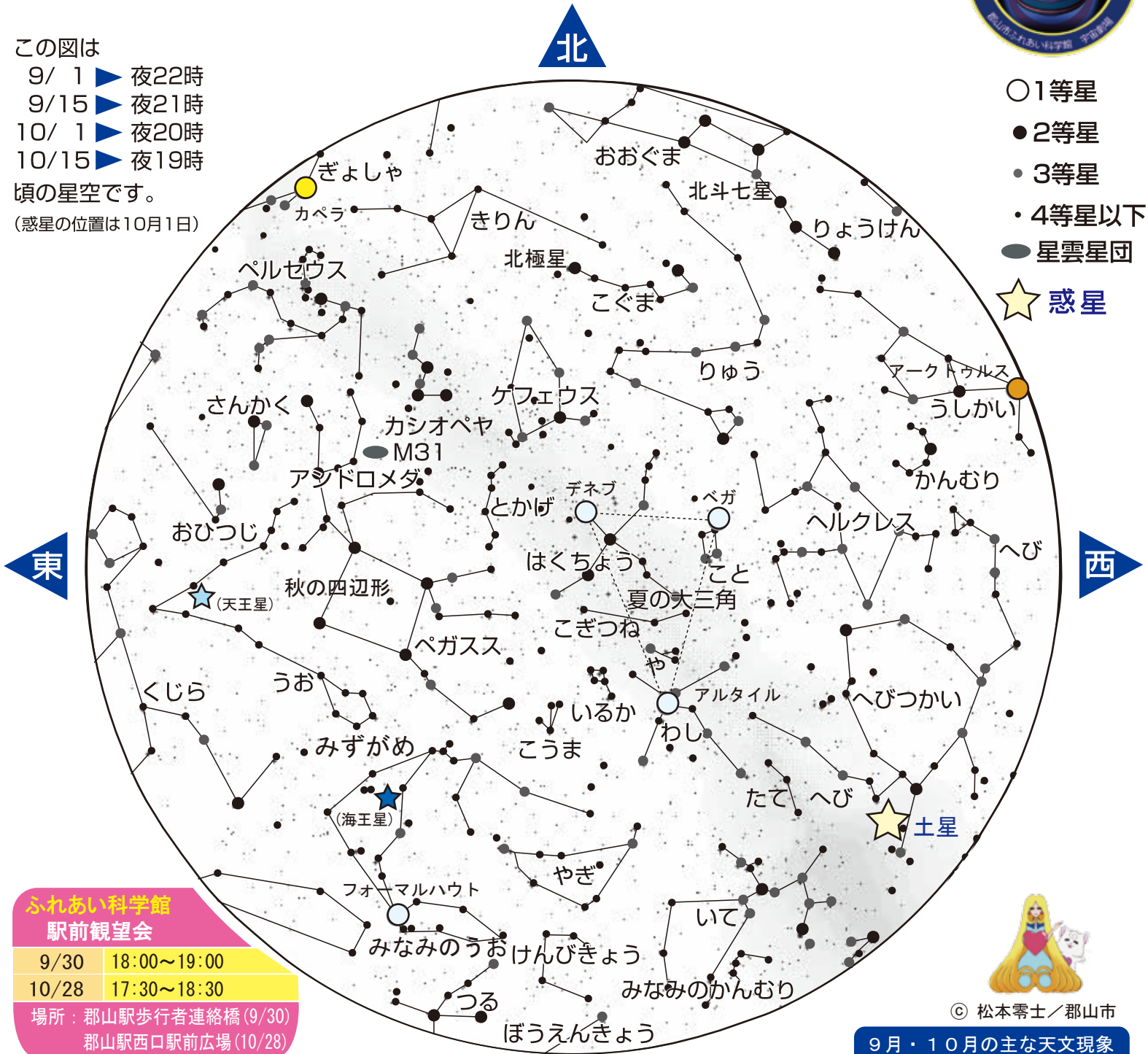
- 9/ 1 ▶ 夜22時
- 9/15 ▶ 夜21時
- 10/ 1 ▶ 夜20時
- 10/15 ▶ 夜19時

頃の星空です。

(惑星の位置は10月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団

★惑星



ふれあい科学館

駅前観望会

9/30 18:00~19:00

10/28 17:30~18:30

場所：郡山駅歩行者連絡橋(9/30)

郡山駅西口駅前広場(10/28)



© 松本零士・郡山市

9月・10月の主な天文現象

9/23	秋分の日
10/ 4	中秋の名月
10/ 8	りゅう座流星群が極大
10/22	オリオン座流星群が極大

郡山の日の出・日の入		
9/ 1	5:08	18:08
9/15	5:19	17:47
10/ 1	5:33	17:23
10/15	5:46	17:02

月の満ち欠け	
新月	9/20, 10/20
上弦	9/28, 10/28
満月	9/ 6, 10/ 6
下弦	9/13, 10/12

※上弦、下弦は半月です。
※天王星、海王星は肉眼では見えません。

暑かった夏が過ぎると、空気が澄んで夜空がきれいに見えるようになります。この時季には古くからお月見が行われてきました。お月見は「中秋の名月」や「十五夜」と呼ばれ、旧暦の8月15日に行われます。今年は10月4日がお月見の日で、満月の2日前の月が見られます。すすきやお団子を供えて、美しい月をお楽しみください。ところで、「仲秋の名月」という言葉も見かけることがありますが、「仲秋」と「中秋」には明確な違いがあります。旧暦では7月から9月を秋と考え、秋の真ん中の月である8月全体を「仲秋」と呼びました。一方、「中秋」とは秋の期間のちょうど真ん中にあたる旧暦の8月15日を指します。そのため、現在行われるお月見のことは「中秋の名月」と呼ばれます。

星空にはまだ夏の星座を見つけることができます。今年の夏は悪天候が多かったため、夏に見られなかった方はこの機会に探してみましょ。街中でも頭上に輝く夏の夏の大三角を見つけることができます。また、東の空には2等星で作る「秋の四辺形」があり、秋の星座も昇っています。「秋の四辺形」の右(西)側の星を結んで南へのぼすと、1等星「フォーマルハウト」が見つかるなど、秋の星をたどる目印となります。夜は風が冷たくなるため、上に羽織るものを用意しておくのと快適に空を観察できるでしょう。

